

令和4年9月16日

各位

会社名 燦キャピタルマネージメント株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 清末 隆宏  
 (コード番号：東証スタンダード2134)  
 問合せ先 管理本部 総務部長 河野 美和子  
 (TEL. 03-6452-9626)  
 URL <https://sun-capitalmanagement.co.jp>

### 資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、令和3年5月20日に発行いたしました第12回新株予約権（行使価額修正条項付）の資金使途について、変更することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 変更理由

当社は、本日付「株式会社 G-TECH の株式取得（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社の業務提携先である株式会社 G-TECH（以下、「G-TECH」といいます。）が行う第三者割当増資を引き受けるための出資金として、当社が発行した第12回新株予約権の行使による調達資金の資金使途を一部変更することといたしました。

#### 2. 変更の内容

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。（変更箇所は下線で示してあります。）

<変更前>

#### 【新株予約権の行使により調達する資金の使途】

具体的な使途	支出予定額	支出予定時期
①クラウドファンディング事業等 (ii) 不動産投資及びクラウドファンディング事業 ■ 函館山ホテル取得資金  ■ 函館山ホテル改装及び備品購入並びに運転資金 ■ 鹿野温泉別荘地土地取得及び建築資金 ■ 新大村駅前開発用地一部取得資金 (iii) 太陽光発電事業における ID 取得資金	7 百万円  50 百万円 240 百万円 100 百万円 47 百万円	令和3年5月～令和3年8月 （全額支出済み） 令和3年5月～令和5年5月 令和3年5月～令和5年5月 令和3年5月～令和5年5月 令和3年5月～令和5年5月 （内、5百万円支出済み）
②「地方創生・地域活性化」及び「SDGs」に関連する事業会社（プリンセスライン株式会社）への投資及び融資資金	200 百万円	令和3年5月～令和5年5月 （全額支出済み）
③「地方創生・地域活性化」及び「SDGs」に関連する事業会社（株式会社フォレストシステム）への投資及び融資資金	282 百万円	令和3年7月～令和3年12月 （全額支出済み）
④当社及び当社子会社の既存事業の運転資金	<u>763</u> 百万円	令和3年5月～令和5年5月 （内、225百万円支出済み）

⑤子会社セブンスターの増資への払込	21 百万円	令和4年2月 (全額支出済み)
⑥訴訟における解決金	175 百万円	令和3年12月～令和7年4月 (内、143 百万円支出済み)
合計	1,885 百万円	

<変更後>

【新株予約権の行使により調達する資金の使途】

具体的な使途	支出予定額	支出予定時期
①クラウドファンディング事業等 (ii) 不動産投資及びクラウドファンディング事業 ■ 函館山ホテル取得資金  ■ 函館山ホテル改装及び備品購入並びに運転資金 ■ 鹿野温泉別荘地土地取得及び建築資金 ■ 新大村駅前開発用地一部取得資金 (iii) 太陽光発電事業における ID 取得資金	7 百万円  50 百万円 240 百万円 100 百万円 47 百万円	令和3年5月～令和3年8月 (全額支出済み) 令和3年5月～令和5年5月 令和3年5月～令和5年5月 令和3年5月～令和5年5月 令和3年5月～令和5年5月 (内、5 百万円支出済み)
②「地方創生・地域活性化」及び「SDGs」に関連する事業会社（プリンセスライン株式会社）への投資及び融資資金	200 百万円	令和3年5月～令和5年5月 (全額支出済み)
③「地方創生・地域活性化」及び「SDGs」に関連する事業会社（株式会社フォレストシステム）への投資及び融資資金	282 百万円	令和3年7月～令和3年12月 (全額支出済み)
④当社及び当社子会社の既存事業の運転資金	663 百万円	令和3年5月～令和5年5月 (内、225 百万円支出済み)
⑤子会社セブンスターの増資への払込	21 百万円	令和4年2月 (全額支出済み)
⑥訴訟における解決金	175 百万円	令和3年12月～令和7年4月 (内、143 百万円支出済み)
⑦再生エネルギー関連事業会社 G-TECH への出資金	100 百万円	令和4年9月
合計	1,885 百万円	

### 3. 今後の見通し

第12回新株予約権の残存個数（株数）は17,678個（1,767,800株）ですが、当社株価の低迷により、想定される新株予約権の未行使分の残額は約51百万円（下限価額29円での行使想定）であることから、51百万円の資金は、当社及び当社子会社の既存事業の運転資金への充当を優先したいと考えております。

以上